

報告事項コ

企画展「ヴェネツィア絵画のきらめき」の開催結果について

企画展「ヴェネツィア絵画のきらめき」の開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成19年12月21日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

企画展「ヴェネツィア絵画のきらめき」の開催結果について

開館35周年記念企画展

「ヴェネツィア絵画のきらめき—栄光のルネサンスから華麗なる18世紀へ—」

会 期：平成19年11月3日（土）～12月9日（37日間）

会 場：鳥取県立博物館 第1・2・3特別展示室

主 催：鳥取県立博物館

後 援：イタリア大使館

協 力：アリタリア航空、ヤマトロジスティクス株式会社

協 賛：中国電力、鳥取銀行

入館料：個人当日 1,200円（個人前売・団体 1,000円）

1 事業概要および目的

(1) 事業概要

イタリアルネサンスの一大中心地であったヴェネツィアで、16世紀から18世紀までに描かれた絵画約70点を、「宗教・神話」「政治」「都市生活」の主題別に3章に分けて紹介する。

なお本展は、県立博物館初の国際展（海外から作品を借用する展覧会）であり、また、鳥取県内初のイタリア美術展となる。

(2) 目的

- ・ルネサンスの巨匠ティツィアーノの作品をはじめ、日本では鑑賞する機会の少ないイタリア絵画の魅力を紹介する。
- ・発注者の意向の強い宗教画や肖像画等の作例を通して、現代とは異なる美術のあり方を紹介する。
- ・会期中にコンサート、講演会、映画上映会、学芸員講座など多彩な関連事業を開催し、ヴェネツィア絵画およびイタリア文化への理解と関心を高める。

2 入館者数

(1) 展覧会総入場者数 7,852人（目標：7000人）

(2) 関連事業入場者数

①ミニコンサート「イタリアの響き」	270人（定員：250人）
②記念講演会「ヴェネツィア絵画の魅力」（岡田温司氏）	60人
③記念講演会「水の都ヴェネツィアに魅せられた人々」（木島俊介氏）	64人
④映画上映会「ヴェニス商人」	260人（定員：250人）
⑤学芸員講座「水都ヴェネツィアの社会と絵画」	56人
⑥ギャラリートーク（会期中に2回実施）	126人

3 結果・反響

- ・アンケート集計結果によると、「大変よかった」「よかった」あわせて88%となった。
- ・展覧会図録とは別個に小サイズの「鑑賞ガイドブック」（16頁、対象：中学生以上）を作成し、会場希望者に無料配布したところ、非常に好評であった。
- ・県内中学校、高等学校の生徒が、授業の一環として学級・学校単位で来館された（鳥大附属中、鳥取西高、敬愛高、城北高など約2,000人）。

- ・ ヴァイオリニストのロドルフォ・ボヌッチ氏、美術史家の岡田温司氏等、第一線で活躍する方々に関連事業の講師をお願いすることができた。本展では会期中にできるだけ毎週イベントを開催するようにし、いずれも多くの方々に参加いただいた（参加者合計836名）。
- ・ 海外からの作品借用、他館との共同企画等のノウハウを得ることができた。
- ・ 内覧会にはヴェネツィアからイタリア人所蔵家が来館され、自らの発案でギャラリートークをされるなど、今までにない展開をはかることができた。

《所蔵家によるギャラリートーク（内覧会）》



《学芸員によるギャラリートーク》



《ミニコンサート「イタリアの響き」》



《高校生の団体鑑賞》

